

学校教育目標	◆人間性豊かな実践力のある生徒～たしかな学力 ゆたかな心情 たくましい身体～
目指す学校像	◆生徒一人ひとりが「来甲斐」「居甲斐」「やり甲斐」のある学校 ◆伝統の継承と新たな構築による信頼される学校
重点目標	1 学びの自律化と個別最適化、学びの探究化に向けた取組の推進 2 自己肯定感、自己有用感、豊かな情操、道徳心等の豊かな人間性の育成 3 連携・協働を目指したコミュニティスクールの推進 4 教育環境の整備と安心・安全な学校づくりの推進 5 ワークライフバランスの充実と常に学び続ける教師の育成

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価			学校運営協議会による評価		
年 度 目 標		年 度 評 価			実施日令和8年2月10日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<現状> ○全国学力・学習状況調査の「教科に関する調査」の結果は概ね良好である。 ○日頃の学習状況の様子から、どの授業でも生徒が真剣に学習に取り組む姿勢が見られる。 <課題> ○教職員の R7「学びの指標」によると、「ICT の活用」「探究的な学び」の評価項目が「基礎基本」「主体性」と比べると低い数値であった。 ○意欲的に学習活動に取り組む生徒が多い中、自ら課題をみつけ、計画を立てて主体的に学習を進めようとする姿勢に課題が見られる。	学びの自律化・個別最適化・探究化	①1人1台のタブレット端末を効果的に活用し、課題に対し自力解決の場を設定するなど、生徒主体の授業を実践する。 ②スタディサプリ等の効果的な活用を実践し、生徒の学びの個別最適化、自律化、探究化を図る。	①学びの指標「ICT の活用」の項目が平均 2.8 以上に向上したか。 ②学びの指標「探究的な学び」の項目が平均 3.23 以上に向上したか。			
		「教える」から「学習者が主体的に学ぶ」授業の実践	①教員一人に年間3回の授業参観と年間2回の授業公開を義務付け、相互授業参観を通じて授業改善を図る。 ②市教委による指導訪問に向けて、指導主事を招聘した指導案検討会を実施し、組織で授業アイデアの共有化を図る。	①年間3回の授業参観と年間2回の授業公開を実施し、「授業参観シート」による学び合い高め合いができたか。 ②指導訪問までに1教科につき3回以上の指導案検討会を実施し、学びの共有化を図ることができたか。			
2	<現状> ○心と生活のアンケート結果から、自己肯定感の低い生徒が見受けられる。 ○日頃の生活の様子から、人間関係のトラブルなどを抱えている生徒も少なくない。 <課題> ○いじめの撲滅と不登校生徒の減少に向けて、組織的・計画的な生徒指導・教育相談体制のさらなる充実を図る必要がある。 ○不登校生徒に対して、個に応じた多様な学び場の提供を積極的に検討し、誰一人取り残されない教育の実現を図る必要がある。	自己肯定感・自己有用感の向上	①学校スローガン「みんなで創る!!笑顔満開 大宮北中」を前面に掲げながら生徒に「来甲斐・居甲斐・やり甲斐」をもたせる②大宮北中憲章に基づく生徒の自主的・主体的な活動を一層促進し、生徒の自己有用感を育む。	①学校評価「学校教育目標等を意識しながら学校生活を送る」の肯定的回答の割合を75%以上にできたか。 ②いじめ対策委員会等を通じて出された生徒の意見を学校全体で具現化させることができたか。			
		迅速な組織対応及び誰一人取り残されない学びの場の提供	①部会等を通じて生徒一人ひとりの状況を共有し、迅速かつ適切な組織対応を行う②不登校生徒を相談室、Sola りーむ等に適切に繋ぎ、誰一人取り残されない学びの場を提供する。	①学校評価(教職員)の生徒指導分野の肯定的な回答の割合を80%以上にする ②学校評価(教職員)の教育相談分野の肯定的な回答の割合を80%以上にする			
3	<現状> ○学校に協力的な保護者及びPTA、そして本校生徒に温かい眼差しを向けくださる地域の方々に支えられ、学校経営ができています。 <課題> ○近隣小学校と比べ手紙の電子化が遅れており、情報が保護者に届いていない可能性がある。 ○学校全体で取り組む地域協働活動に生徒が大変積極的取り組んでいるが、希望者を募って参加するイベントについては、まだまだ自主性、積極性が足りていない。生徒の自発的な取組により、地域に貢献し、地域に愛される生徒を育成し、生徒の自己有用感を高める。	保護者・地域への積極的な情報発信とコミスクの周知	①学校公開、保護者会、学校だより、学校HPに加えてアプリ(がくぶり)を活用し保護者への配付物の完全電子化を目指し、情報発信力を強化する。 ②民生児童委員連絡協議会を実施する。 ③コミスクだよりを発行する。	①学校評価「学校情報の開示」(保護者)の肯定的な回答の割合を83%以上にする②学校評価「コミスクの周知」(保護者)の肯定的な回答の割合を40%以上にする。			
		地域貢献・地域協働活動の充実	①大宮公園清掃作業について小学校と連携して活動を行う②公民館主催ボランティア、大宮アルディージャとの交流等、地域貢献活動の場へ希望者を募り生徒を積極的に参加させる。 ②新たに、避難所運営訓練と学校運営協議会(第2回)に生徒を参加させる。	①予定していた地域貢献活動・学校地域協働活動を実施することができたか。 ②避難所運営訓練に生徒を参加させ、地域貢献を図ることができたか。 ③学校運営協議会に生徒と地域を代表する運営委員との熟議の場を設定することができたか。			
4	<現状> ○体育館エアコン設置工事及び体育館・武道場のリフレッシュ工事を無事に終え、2学期からB校舎建替え工事が始まる。 <課題> ○B校舎の建替え工事に伴う生徒・職員の安全確保及び授業・活動場所の確保が課題。 ○校庭の木々も老朽化による倒木の恐れがあるものが点在している。	施設・設備の安全管理及び円滑な建替え工事の実施	①全職員で定期的な安全点検を毎月1回行い、危険箇所の早期発見と修繕を徹底して行う。②B棟の建替え工事に伴い授業及び活動場所を確保し円滑に工事に移行する。③道路に面した樹木の剪定を大規模に実施する。	①毎月の安全点検と緊急性のある修繕・整備の完全実施をすることができたか。 ②授業・活動場所の確保ができたか。 ③市教委と連携し道路に面した樹木の剪定を実施できたか。			
		会計予算の適切な執行・処理	①計画的かつ迅速な予算執行を行うとともに寄付申請や追加配当申請を適切に行う。②PTAと連携しながら会計監査を確実に実施する。	①学校予算の執行残を限りなくゼロに近づけることができたか。 ②学期に1回の監査を適切に実施し明らかな会計処理を実施することができたか。			
5	<現状> ○自らのキャリア形成に役立てるため、積極的に自主研修に参加を計画している職員が多い。 ○特別休暇や年休を活用し子育てや介護との両立を適切に図っている職員が多い。 <課題> ○教育熱心なあまり退校時間の意識が薄れて、在校時間が長くなっている職員が多くみられる。 ○校務のICT化については、まだ改善の余地がみられる。	働き方改革マスタープランに基づくワークライフバランスの充実	①管理職、主任等のリーダーシップにより計画的年休の取得を奨励する。 ②校務のICT化を促進し、マイナー残業デーを活用した定時退勤を推奨する。③働き方改革マスタープランや出産育児介護両立プランを周知する。	①1か月の時間外在校時間の平均を37時間以下にすることができたか。 ②計画的年休を取得する職員を増やすことができたか。 ③働き方改革マスタープラン等を職員に周知することができたか。			
		学び続ける教師の育成	①人事評価当初面談において職員一人ひとりの研修プランについて指導する。 ②自主研修の開催情報をteam s等を用いて積極的に周知する。	①自主研修に参加する教員の割合を増加させることができたか。 ②自主研修の開催情報をteam s等を用いて積極的に周知することができたか。			

学校運営協議会による評価
実施日令和8年2月10日
学校運営協議会からの意見・要望・評価等